



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3143 URL <https://owill.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 一紀  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488  
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 ー  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	20,549	23.8	794	32.7	809	45.7	550	45.5
2024年3月期中間期	16,585	0.5	598	△2.5	555	△2.8	378	△1.0

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 434百万円 (△19.8%) 2024年3月期中間期 541百万円 (17.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	183.85	—
2024年3月期中間期	120.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	16,737	4,838	28.1	1,572.63
2024年3月期	13,629	4,544	32.3	1,472.07

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 4,709百万円 2024年3月期 4,401百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	10.1	1,030	7.4	1,030	13.2	700	2.7	234.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社海鮮、除外 1社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	3,150,000株	2024年3月期	3,150,000株
2025年3月期中間期	155,329株	2024年3月期	160,329株
2025年3月期中間期	2,991,814株	2024年3月期中間期	3,149,682株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(中間連結貸借対照表に関する注記) .....	8
(中間連結損益計算書に関する注記) .....	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(企業結合等関係) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や好調なインバウンド需要等に支えられ、景気の緩やかな回復が見られました。しかしながら、中国経済の減速懸念、ウクライナ情勢や中東の地政学リスクの顕在化等を背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においては、原材料価格の高騰や人件費の上昇等に対応した商品の値上げの影響により、消費者の節約志向が強まる傾向が見られ、今後の経営環境は引き続き厳しい状況が予想されます。

このような状況のもと、当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。卸売事業の主力カテゴリである農産物加工品、食品副原料の販売数量が増加したことに加え、株式会社海鮮を子会社化したことにより、当中間連結会計期間の売上高は20,549,196千円（前期比23.9%増）となりました。売上高の増加に伴う売上総利益の増加により、営業利益は794,671千円（前期比32.7%増）となりました。経常利益は809,454千円（前期比45.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は550,032千円（前期比45.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### <卸売事業>

飲食料品市場においては、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴うメーカー各社の商品値上げが浸透しつつあり、出荷数量は前年同期並みで推移したものの、経営環境は依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め既存取引先のサービス向上と新規商材の開発・販促に注力してまいりました。環境事業の柱である大型シーリングファンの設置件数は横ばいだったものの、アサイーをはじめとするピューレや果汁などの農産物加工品、糖類や香料などの食品副原料の販売数量が前年同期に比べ増加したことから、卸売事業の売上高は18,371,009千円（前期比11.4%増）となりました。

#### <製造販売事業>

アイスクリーム製造子会社である株式会社サンオーネストにおいては、NB商品の販売強化ならびに取引先のニーズに合ったPB商品の提供に努めました。大型連休の好天や夏場の猛暑が後押ししたことにより、前年同期比で増収となりました。加えて、2024年4月1日に子会社化した株式会社海鮮の業績が堅調に推移したことにより、製造販売事業の売上高は大幅に増加し、2,697,809千円（前期比551.4%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態の分析

① 資産の状況

当中間連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,807,745千円増加し、15,054,296千円となりました。主な要因は、現金及び預金、売掛金、商品及び製品の増加によるものであります。また、当中間連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ300,206千円増加し、1,683,168千円となりました。主な要因は、差入保証金の増加によるものであります。

この結果、当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3,107,951千円増加し、16,737,464千円となりました。

② 負債の状況

当中間連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,107,142千円増加し、8,751,563千円になりました。主な要因は、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、未払法人税等の増加によるものであります。また、当中間連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,707,449千円増加し、3,147,765千円となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

この結果、当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2,814,592千円増加し、11,899,329千円となりました。

③ 純資産の状況

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ293,358千円増加し、4,838,135千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年5月13日に発表いたしました数値から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,851,414	3,090,063
受取手形	151,863	143,477
売掛金	6,247,805	6,981,469
商品及び製品	2,448,300	3,058,650
未着商品	858,729	847,479
原材料及び貯蔵品	95,287	219,242
未収入金	154,627	175,304
その他	483,963	583,697
貸倒引当金	△45,441	△45,088
流動資産合計	12,246,551	15,054,296
固定資産		
有形固定資産	537,641	571,634
無形固定資産	45,271	90,825
投資その他の資産	800,049	1,020,707
固定資産合計	1,382,962	1,683,168
資産合計	13,629,513	16,737,464
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,042,257	5,832,558
1年内償還予定の社債	—	80,000
短期借入金	—	600,000
1年内返済予定の長期借入金	844,982	1,298,460
未払金	292,888	218,892
未払法人税等	166,636	351,029
賞与引当金	47,908	78,480
その他	249,747	292,141
流動負債合計	7,644,420	8,751,563
固定負債		
社債	—	170,000
長期借入金	1,349,142	2,721,997
資産除去債務	9,881	12,971
退職給付に係る負債	—	37,195
その他	81,292	205,601
固定負債合計	1,440,316	3,147,765
負債合計	9,084,736	11,899,329
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	294,534
利益剰余金	3,678,501	4,079,050
自己株式	△203,332	△196,991
株主資本合計	4,131,032	4,539,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,223	114,939
繰延ヘッジ損益	4,247	△52,238
為替換算調整勘定	134,512	106,814
その他の包括利益累計額合計	269,982	169,515
非支配株主持分	143,761	128,638
純資産合計	4,544,776	4,838,135
負債純資産合計	13,629,513	16,737,464

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	16,585,358	20,549,196
売上原価	14,793,201	18,326,384
売上総利益	1,792,157	2,222,812
販売費及び一般管理費	1,193,450	1,428,141
営業利益	598,706	794,671
営業外収益		
受取利息	282	397
受取配当金	5,062	3,114
受取手数料	3,163	145
受取補償金	3,655	20,230
補助金収入	—	3,388
為替差益	—	7,009
その他	965	1,570
営業外収益合計	13,129	35,854
営業外費用		
支払利息	5,606	20,604
為替差損	49,585	—
その他	908	466
営業外費用合計	56,099	21,070
経常利益	555,736	809,454
特別利益		
固定資産売却益	9,977	919
投資有価証券売却益	6,280	—
特別利益合計	16,257	919
税金等調整前中間純利益	571,993	810,374
法人税、住民税及び事業税	178,670	335,388
法人税等調整額	9,815	△68,011
法人税等合計	188,486	267,377
中間純利益	383,507	542,997
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	5,448	△7,035
親会社株主に帰属する中間純利益	378,058	550,032

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	383,507	542,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,254	△16,283
繰延ヘッジ損益	30,590	△56,485
為替換算調整勘定	65,327	△35,785
その他の包括利益合計	158,172	△108,554
中間包括利益	541,680	434,442
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	521,467	449,565
非支配株主に係る中間包括利益	20,212	△15,123



(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	571,993	810,374
減価償却費	29,260	47,307
のれん償却額	—	4,245
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,649	△5,152
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19,993	27,011
受取利息及び受取配当金	△5,344	△3,511
支払利息	5,606	20,604
受取補償金	—	△20,230
為替差損益 (△は益)	△12,273	5,407
固定資産売却益	△9,977	△919
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,280	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,347,979	△256,264
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△206,123	△74,672
未収入金の増減額 (△は増加)	△31,598	50,034
前渡金の増減額 (△は増加)	72,954	△122,857
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,628,817	△492,966
未払金の増減額 (△は減少)	89,021	△121,289
未払消費税等の増減額 (△は減少)	54,469	△72,008
前受金の増減額 (△は減少)	522	3,272
有償支給取引に係る負債の増減額 (△は減少)	△34,092	△7,933
その他	41,505	40,555
小計	866,125	△168,992
利息及び配当金の受取額	5,706	3,799
利息の支払額	△5,781	△21,336
法人税等の支払額	△137,273	△160,563
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>728,777</b>	<b>△347,093</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△127,604	△18,273
有形固定資産の売却による収入	9,145	919
無形固定資産の取得による支出	△600	△2,352
貸付金の回収による収入	30,000	30,000
投資有価証券の売却による収入	13,650	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	427,282
差入保証金の差入による支出	△135	—
保険積立金の解約による収入	—	185,834
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△75,545</b>	<b>623,412</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	270,000
長期借入れによる収入	400,000	1,870,000
長期借入金の返済による支出	△433,142	△959,093
社債の償還による支出	—	△40,000
リース債務の返済による支出	△7,749	△10,929
自己株式の取得による支出	△32	—
配当金の支払額	△147,804	△148,110
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△188,729</b>	<b>981,867</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	56,694	△19,536
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	521,197	1,238,649
現金及び現金同等物の期首残高	1,793,749	1,851,414
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,314,946	3,090,063

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※1 中間連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の前連結会計年度末日満期手形が前連結会計年度末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
受取手形	18,808千円	一千円

2 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
㈱アクセルテック	35,648千円	㈱アクセルテック 34,400千円

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
賃金給料及び諸手当	416,278千円	466,055千円
賞与引当金繰入額	57,747	78,110
運賃	225,114	267,392
貸倒引当金繰入額	5,649	△5,152

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金勘定	2,314,946千円	3,090,063千円
預入期間が3か月を超える定期預金	—	—
現金及び現金同等物	2,314,946	3,090,063

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,373,763	211,594	16,585,358	—	16,585,358
セグメント間の内部 売上高又は振替高	119,833	202,556	322,389	△322,389	—
計	16,493,596	414,151	16,907,747	△322,389	16,585,358
セグメント利益	592,420	△712	591,707	6,999	598,706

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額6,999千円は、セグメント間取引消去6,999千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,186,368	2,362,827	20,549,196	—	20,549,196
セグメント間の内部 売上高又は振替高	184,640	334,981	519,621	△519,621	—
計	18,371,009	2,697,809	21,068,818	△519,621	20,549,196
セグメント利益	651,033	183,580	834,614	△39,943	794,671

(注) 1. セグメント利益の調整額△39,943千円は、子会社株式の取得関連費用及びセグメント間取引消去等△39,943千円であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

製造販売事業セグメントにおいて、当中間連結会計期間に株式会社海鮮の株式を取得したことに伴い、のれんが42,457千円発生しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

当社は2024年3月25日開催の取締役会において、株式会社海鮮の全株式を取得し、子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。当該株式の取得は、2024年4月1日に完了しております。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称 株式会社海鮮

事業の内容 鮮凍魚介類の輸入及び国内買付販売、魚卵の輸入及び加工販売

② 企業結合を行った理由

当社グループは、商社として、食を中心とした事業を展開しており、主に食品原材料の国内販売及び輸出入取引を行っているほか、アイスクリーム等の製造販売を行っております。また、事業の多角化を図るべく新規事業の開発にも注力しており、近年では環境事業への取り組みを推進し、関連アイテムの販売活動を行っております。

株式会社海鮮は鮮凍魚介類の卸売事業並びに魚卵の輸入・加工販売事業を中心に事業を展開しております。当社グループは新たな事業の柱を構築する上で、水産分野への進出が当社グループの更なる成長に繋がるものと判断し、本株式を取得いたしました。

③ 企業結合日

2024年4月1日

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

⑥ 取得する議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	525,331千円
取得原価		525,331千円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等	53,986千円
-----------	----------

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん

42,457千円

なお、のれんは、当中間連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

② 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力により発生したものであります。

③ 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	2,146,203千円
固定資産	449,023
資産合計	2,595,226
流動負債	1,244,069
固定負債	868,282
負債合計	2,112,352

(重要な後発事象)

該当事項はありません。